

防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表

資料2

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・ 県外調査では十分な調査ができたと同時に委員の防災意識もより一層高まった。また、参考人招致を実施するなど1年を通して効果の高い調査を実施することができた。
- ・ 参考人招致では、建設産業に関わる様々な立場の方の意見を聴くことができ有意義であった。執行部にもその意見を伝えることができたが、今年度の委員会で施策へ反映できなかった点については、今後の委員会でも注視していく必要がある。
- ・ 県民の関心の高い防災・減災対策について、委員会で十分に議論し、来年度予算に反映できたことはよかった。
- ・ 委員長報告に対して執行部が的確に対応したことは、委員会としての的確な提案ができた成果であると思う。
- ・ 本委員会のみでは議論が不十分な課題については、全員協議会等ふさわしい場での議論も必要であると感じた。

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	4.3
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	4.3
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員間討議につながる場面がなかなか無い。 ・ 委員長が発言を促す方法が適切で比較的議員間討議を活発にできた。]	3.0
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	4.1

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>・参考人招致が大変有意義であった。</p> <p>・普段意見を聴くことの少ない方を参考人として招き有意義な情報を得ることができた。</p>	4.1
(6) 調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・委員長報告や委員会での指摘が比較的県政に反映されたと思われる。</p> <p>・本委員会のみでは議論が不十分な課題(具体的には特定建築物等における法定点検の実施状況)については、全員協議会で障がい者雇用率算定誤りと併せて議論すべきだった。</p>	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。